

令和 7 年 4 月

サービス運営推進会議（在宅包括サービスおおいど）

報告事項

○利用者状況

2 月

介護度	申請中	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数		4 名	5 名	11 名	4 名	5 名

計 29 名

新規 3 名

入院 2 名

2 月中の終了 2 名

3 月

介護度	申請中	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
人数	1 名	3 名	6 名	8 名	6 名	5 名

計 29 名

新規 3 名

退院 1 名

3 月中の終了 3 名

○人事異動について

4/1 から、高柳が看多機の管理者に就任。伊藤が管理者を退任しました。

中澤が、いきいきデイサービスから看多機へ

廣瀬が、いきいきデイサービスへ

○活動の報告

4/5 天沼公園 桜の花見

4/8 平井町公園 桜の花見

4/19 赤堀せせらぎ公園 こいのぼり見学



暖かくなったので、外の景色を楽しんできました。

## ○研修等

3/6 伊勢崎市集団指導 オンラインで参加（伊藤）

3/21 医療法人あづま会 役職者研修（高柳 伊藤 廣瀬 青木 北爪尚）

## ○感染対策について

- ・現在、コロナやインフルエンザは落ち着いてきた感じがありますが、引き続き、感染対策にご協力をお願いいたします。
- ・看多機への訪問について  
新型コロナウイルス感染症が５類となりましたが、体調不良時の訪問はお控えください。
- ・サービスの利用について  
発熱等の症状がある場合には、まずご一報をお願いします。  
必要に応じて、抗原定性検査を実施してからのサービス利用とさせていただきます。  
同居のご家族に症状がある場合にも、ご連絡をいただけるようお願いいたします。  
（念のため、隔離対応いたします。）

## ○看多機での看取りについて

- ・２月２件（末期がん）
- ・３月２件（末期がん、急性心不全）

### ・最近の看取りの様子

Aさんは末期がんのため、１月から看多機利用となりました。息子さんが仕事のため、日中は一人になってしまうので、当初は通いサービスを中心に、安否確認のための訪問を１日に複数回提供していました。

しかし、２月末頃から痛みが出現し、痛みのコントロールを行うため、看多機に連泊。最期は看多機で看取りました。

Bさんは、通いサービスと訪問看護を中心に看多機を利用していました。Bさんは認知症の進行がみられていましたが、「奥様と一緒に過ごしたい」という想いが強く、それを汲んで宿泊サービスを利用することはなく奥様が頑張って自宅で介護をされていました。ある日、緊急のコールあり。看護職員がご自宅に伺うと、既に呼吸が停止している状態でした。

ご自宅でお亡くなりになられたことについて、奥様はとても驚かれた様子でしたが、「すぐに看護師さんが来てくれたので安心した」と言ってくださいました。Bさんは、住み慣れた自宅で、最期まで大好きな奥様と生活を続けることができました。

## ◎身体拘束適正化委員会

- ・前回の会議から本日までの間に、身体拘束に該当する事案はありませんでした。

## 【議事録】

1.参加者：ご家族 4 名、民生委員 2 名、区長 1 名、伊勢崎市役所介護保険課職員 2 名

### 2.全体を通しての質疑応答

①看取りの方の年代は？

→80～90 代です

②利用者に重症度の高い認知症の方はいるのか？

→様々は重症度の方が利用しています

③Bさんが亡くなった際は警察を呼んだのか

→当院の院長が主治医で訪問診療に行っていたので、院長が看取りました。

④看取りについて。超高齢である家族が日によって元気があったり元気がなかったりと日によって様々であるが、看取りの目安となることはあるのか？

→一つの目安としては、動けていた方が動けなくなってきた、食事を普通に食べていた方が食事を摂らなくなってきたなど、今までと違う様子や変化が看取りのサインになるかと思います。

⑤市役所職員に対して：物価高騰に対する対応が自治体によってことなるが、伊勢崎市でも市で給付金をいただくことは可能か？

→後日返答あり。伊勢崎市では給付金の予定はないですとのこと

### 3.自宅での介護状況についての意見交換

- ・介護初心者であるが、看多機スタッフの支援がありがたい。看多機のサービスを利用し始めて自宅での介護の流れができてきた。特に朝の訪問が嬉しく、1日を安心して始めることができる。
- ・看多機スタッフのケアが丁寧。医療的な事も相談できる。介護と自分のこと（仕事や趣味など）を両立することができる。もっと早く利用すればよかったと思っている。
- ・病院から退院する人が自宅に帰るまでに生活を整えたり、リハビリをしたりという点で老人保健施設と同じような気がするが、どう違うのか？  
→看多機は自宅に行って実際の生活の場をみてどのような援助が必要になるのか検討していきます。より具体的に一人ひとりあったサービスを提供することができます。
- ・看多機の方針を聞いた時に、将来自分も利用したいと思った。看多機を利用している父は今の時点では独り暮らしでも大丈夫であるが、いざとなった時のために支援してもらっている。
- ・老々介護でストレスが溜まっている。疲れもある。包括が横のつながりを作って、今日のような同じ境遇の人達が話し合えるようなストレス発散の場が欲しい。市と連携して「認知症家族の会」のようなものがあってもいいのでは。

### 4.アンケート結果

①本日の会議の感想や内容等についての意見がありましたらおきかせください

- ・4月から変更になった管理者に合うことができて良かった。看多機の様子が分かりよかった。他のご家族の状況がよく分かった。
- ・介護をしている皆さんの話を聞くことができて良かった

- 看多機を利用している利用者さん、ご家族がそのメリットを実感していることが印象的だった。利用者さん家族の意向に沿った介護サービスを提供しているからこそ、利用者さんが満足するサービスになっているのだと思いました。
- 同じ思いをしている人を知り、良かった
- ご家族の意見交換が活発でとても良い会議になっていると思います。在宅の末期がん患者の方々に在宅援助助成金制度の周知もお願いできればと思います。

②運営推進会議を活用してやりたい企画などありましたら聞かせてください

- 特にないが、時間があれば参加したい
- 皆さんでストレス解消のために色々と話せる機会があればいいと思います